

一般職業紹介状況(平成24年7月分)

有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.01ポイント上昇の0.82倍で、2か月ぶりに前月を上回った。

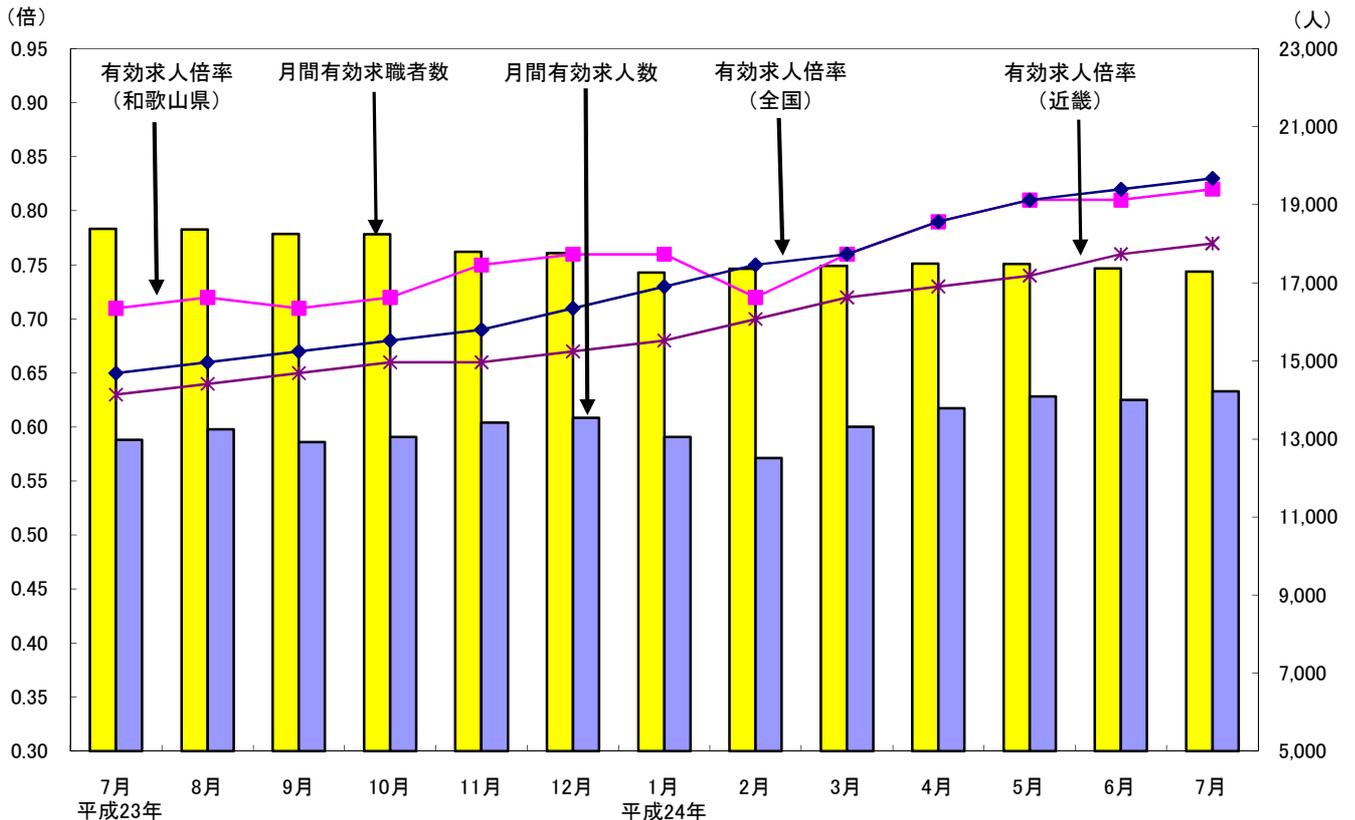
全国の有効求人倍率(季節調整値)は0.83倍で、前月より0.01ポイント上昇。

近畿の有効求人倍率(季節調整値)は0.77倍で、前月より0.01ポイント上昇。

新規求人倍率(季節調整値)は1.42倍で、前月より0.23ポイント上昇。

- ◎ 新規求人数(原数値)は対前年同月比16.7%増。
- ◎ 新規求職者数(原数値)は対前年同月比6.7%減。

有効求人倍率等の推移



(注) 有効求人倍率、月間有効求人数及び月間有効求職者数はすべて季節調整値。
季節調整値の平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂済。
有効求人倍率(折れ線グラフ)は左目盛。月間有効求人数及び月間有効求職者数(棒グラフ)は右目盛。

1 求人倍率の動き

新規求人倍率(季節調整値)は前月より0.23ポイント上昇の1.42倍で、2か月ぶりに前月を上回った。

全国の新規求人倍率(季節調整値)は1.31倍で、前月より0.01ポイント低下。

近畿の新規求人倍率(季節調整値)は1.26倍で、前月より0.01ポイント低下。

有効求人倍率(季節調整値)は0.82倍となり、前月を0.01ポイント上回った。

正社員有効求人倍率(原数値)は前年同月より0.04ポイント上昇の0.40倍で、25か月連続で前年同月を上回った。

2 求人の動き

(1) 新規求人数(原数値)は5,597人で、前年同月比16.7%増(2か月ぶり増)となった。

有効求人数(原数値)は13,405人で、前年同月比10.0%増(4か月連続増)となった。

(2) 主な産業別に新規求人の増減(前年同月差)をみると、

「医療,福祉」(154人増)、「宿泊業,飲食サービス業」(150人増)、「教育,学習支援業」(127人増)、「製造業」(110人増)、「サービス業」(96人増)、「卸売業,小売業」(71人増)などで増加し、「公務・その他」(56人減)などは減少した。

(3) 一般、パート別で新規求人の状況を見ると、一般求人数は3,013人で前年同月比4.9%増、パート求人数は2,584人で前年同月比34.3%増となった。

3 求職者の動き

(1) 新規求職者数(原数値)は3,938人で、前年同月比6.7%減(11か月連続減)となった。

有効求職者数(原数値)は17,756人で、前年同月比5.0%減(16か月連続減)となった。

(2) 新規求職者(パートを含む常用)を態様別にみると、在職者は819人で前年同月比7.6%増(3か月連続増)、離職者は2,467人で同5.3%減(2か月連続減)となり、離職者のうち事業主都合離職は595人で同13.5%減(3か月連続減)、自己都合離職は1,713人で同0.6%減(2か月連続減)、また、無業者は605人で同20.3%減(8か月連続減)となった。

(3) 雇用保険の受給者実人員は4,846人で、前年同月比2.4%増(2か月ぶり増)となった。

4 就職者数の動き

安定所の紹介による就職者数は1,610人で、前年同月比3.4%減(2か月連続減)となった。

5 まとめ

求職者数は新規、有効とも前年に比べ連続して減少している。また、求人の動向をみると、有効求人数は4か月連続の増加、新規求人数は2か月ぶりの増加と、明るい要素がみられることから、雇用情勢は依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる。